



エコアクション21
認証・登録番号0004309

環境活動レポート2018年

2018年1月1日～2018年12月31日



未来の子供たちへ、安心した環境を

株式会社 橋脇商店 本社

作成日 2019.2.28

目次

環 境 方 針	2
2 0 1 8 年 環 境 目 標	3
会 社 概 要	4
E A 2 1 E M S 事 務 局 組 織 図	5
事 業 概 要	6
環 境 目 標 ・ 環 境 活 動 計 画 の 策 定	9
環 境 目 標 の 実 績 評 価	10
環 境 活 動 取 組 内 容 と そ の 評 価	12
環 境 関 連 の 法 規 制	13
環 境 関 連 法 規 制 違 反 ・ 訴 訟 等 の 有 無	14
代 表 者 に よ る 全 体 の 評 価 と 見 直 し	15

環 境 方 針

基本理念

株式会社橋脇商店は、環境への責任を問われる時代に【環境にやさしい処理方法】を経営理念とし、産業廃棄物収集運搬業、非鉄金属卸売業及び建築物清掃業の企業活動を行います。

基本方針

当社は、環境関連法規制等の遵守、継続的改善、環境コミュニケーションを柱とします。
具体的には

- 1 環境関連法規制及び他社との同意事項を厳守する。
- 2 環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。
- 3 排出元事業者へ廃棄物の分別指導を行い廃棄物の減量、リサイクル率向上を図る。
- 4 最新の公害防止技術・環境保全技術の導入に努める。
- 5 収集運搬車両等のエコドライブを実施し、省エネと排気ガスの抑制に取り組む。
- 6 行政及び地域住民との環境コミュニケーションに努める。
- 7 地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努める。

平成 20 年 2 月 1 日 制定

平成 21 年 10 月 15 日 改訂

株式会社橋脇商店

代表取締役

橋脇英行

2018年環境目標

目標の設定（中長期）

No	環境目標項目	基準年	増減率	中長期目標（3年）		
		2017年実績 （1～12月）	年率%	2018年目標 （1～12月）	2019年目標 （1～12月）	2020年目標 （1～12月）
1	二酸化炭素排出量	151,369	1%	149,855	148,357	146,873
2	廃棄物排出量	145	1%	144	142	141
3	総排水量	2,590	1%	2,564	2,538	2,513
4	化学物質使用量	—	—	—	—	—
5	グリーン購入	94.5	1%	95	96	97
6	再資源化率の向上	89.1	1%	90	91	92

環境目標の設定（2018年目標）

※2013年東北電力排出係数 0.591kg-CO₂/kWh

No	環境目標項目	2017年実績	増減率%	2018年目標
1	(1)二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	151,369	1%	149,855
	(2)電力使用量(kWh/年)	84,015	1%	83,175
	(3)灯油使用量(L/年)	1,065	1%	1,054
	(4)LGP使用量(kg/年)	—	—	—
	(5)ガソリン使用量(L/年)	7,885	1%	7,806
	(6)軽油使用量(L/年)	30,772	1%	30,464
2	廃棄物排出量(kg/年)	145	1%	144
3	総排水量(m ³ /年)	3,406	1%	3,372
4	化学物質量	—	—	—
5	グリーン購入の推進(%)	94	1%	95
6	再資源化率の向上(%)	89	1%	90

会 社 概 要

(1) 事業者名

株式会社 橋脇商店 本社
代表取締役 橋脇 英行

(2) 所在地

福島県福島市平石字新田85番地の1

(3) 法人設立年月日

1987年(昭和53年)4月

(4) 事業内容

非鉄原料再生原料卸売
産業廃棄物収集運搬・一般廃棄物収集運搬
建築物清掃業
建築物ねずみ昆虫等防除業

(5) 環境関係担当者の連絡先

環境管理責任者 業務主任 渡邊 貴伯
担 当 者 業務主任 渡邊 貴伯
連 絡 先 TEL(024)546-1830 FAX(024)546-1807
E-mail watanabe@hashiwaki.com

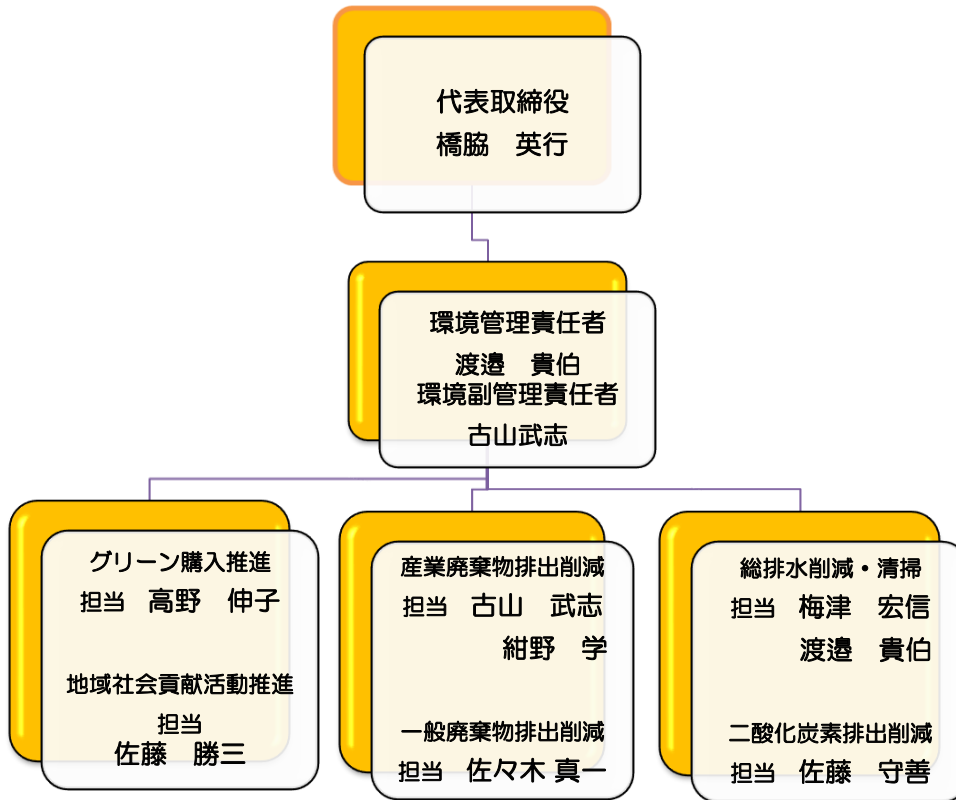
(6) 事業所の規模

資本金 1,000万円
従業員数 23名(事務職2名 技術職21名)
事業所面積 138.35㎡
敷地面積 8,559.8㎡
売上高 394.42万円(2018年度)

(7) エコアクション21対象範囲

株式会社 橋脇商店 本社

EA21EMS事務局 組織図



各自の活動内容

代表者・・・環境方針,目標の決定及び活動内容の見直し改善

環境管理責任者・・・活動計画の設定及びデータのとりまとめ

グリーン購入推進担当者・・・エコマーク商品の購入

地域社会貢献活動推進担当者・・・地域の不法投棄廃棄物を回収処理活動

除雪活動

廃棄物排出削減担当者・・・廃棄物を分別し、資源としてリサイクル・コピー用紙の両面使用

総排水削減・清掃担当者・・・洗車用水の節水・社員へ節水運動を社員へ促進・5Sの徹底

二酸化炭素排出削減担当者・・・昼休み時間の消灯・冷暖房温度の基準（冷房28℃・暖房20℃）の管理

エコ運転活動

※上記活動内容を各担当者が各社員に伝え活動を行う

事 業 概 要

(1) 許可・認定・登録

廃棄物に関する許可

	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の範囲	
				事業の区分	産業廃棄物の種類
1	第00701025752号	H27.01.06	R01.10.31	福島県 産業廃棄物収集運搬業	①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩
2	第56号	H30.07.01	R02.06.30	福島市 一般廃棄物収集運搬業 (ごみ)	一般廃棄物 可燃・不燃
3	第38号	H30.11.27	R02.11.26	伊達市 一般廃棄物収集運搬業 (ごみ)	一般廃棄物 可燃・不燃
の産 業 種 廃 棄 類 物	① 燃え殻	② 汚泥	③ 廃油	④ 廃アルカリ	
	⑤ 廃プラスチック類	⑥ 木くず	⑦ 動植物性残さ	⑧ 金属くず	
	⑨ ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず				
	⑩ がれき類 ①～⑩の内、自動車等破砕物・特別管理産業廃棄物であるものを除く。				

非鉄金属に関する認定

	認定番号	認定年月日	有効年月日	事業の区分	非鉄金属の種類
1	第N07K-00701号	H30.07.21	R03.07.21	再生資源回収業	金属類・古紙類・古繊維類・びんカレット

清掃業に関する登録

	登録番号	登録年月日	有効年月日	事業の区分	業務の種類
1	福島県16清第86号	H28.06.22	R04.06.21	建築物清掃業	建築物内外清掃
2	福島県21ね第81号	H27.02.02	R03.02.01	ねずみ昆虫防除業	ねずみ昆虫防除業

一般建設業に関する登録

	登録番号	登録年月日	有効年月日	事業の区分	業務の種類
1	福島県知事許可 (般-26) 第28756	H26.05.15	R01.05.14	一般建設業許可	とび・土工工事業

(2) 運搬車両の種類と台数

	車種	車両形式	台数
1	4tトラック	平ボデー	2台
2	4tユニック	平ボデー(クレーン付)	1台
3	4tパッカー車	機械式収集車(圧縮板式)	1台
4	4tトラック	アームローダー	1台
5	10tトラック	ダンプ	2台

(3) 破砕・有価物処理事業に供するすべての施設

処理施設の種類	廃プラスチック類の破砕施設 (ダイコー精機(株)製 DAS-54型(13G-42))
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)以上1種類
処理能力	5.6t/日(8時間) 0.7t/時間
設置年月日	平成20年8月6日
許可年月日	平成20年2月19日(北辰P第22号)
設置場所	福島県福島市平石字新田85番1、85番4

(4) 処理実績

1	産業廃棄物収集運搬量	180.15t/年
内 訳	木くず	91.5 t/年
	廃プラスチック	88.65 t/年
	石綿	7m ³ /年
2	一般収集運搬量	100.07 t/年

環境活動計画の策定

環境目標	活動・取組項目	担当者	活動の具体的内容	実施時期
	何を	誰が	どのように	いつまでに
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	渡邊	不要照明の消灯	通年
		佐藤(守)	照明機具の改善(不要な蛍光灯を外す)	通年
		佐藤(守)	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
		佐藤(守)	冷暖房の温度管理	通年
		渡邊	冷暖房機器清掃	通年
		渡邊	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	12月
廃棄物排出量の削減	エコ運転の実施	古山	エコドライブ教育研修	通年
		古山	アイドリング時間の削減	2月
		古山	急発進、急加速はしない	通年
		古山	タイヤの空気圧を定期的に調節する	通年
		古山	燃費管理の実戦	偶数月
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底	佐々木	分別の徹底	通年
		佐々木	分別方法をわかりやすく掲示	通年
		佐々木	廃棄物置場の整理	通年
	紙使用の削減	渡邊	コピー数量の削減	通年
		渡邊	OA紙の再資源化	通年
		渡邊	ペーパーレス化の推進	通年
総排水量の削減	水道使用量の削減	梅津	洗車時・手洗い時の節水	4月
		梅津	水の強さを調節(給水栓を絞る)	通年
		梅津	こまめに水を止める	通年
		梅津	利用目的に応じた効率的な使用	通年
グリーン購入	グリーン商品の購入	高野	グリーン購入のリストアップ	通年
		高野	エコマーク商品の優先的購入	4月
環境配慮	再資源化率向上	紺野	再資源化できる中間処理業者への収集運搬	通年
	資源の有効利用	紺野	リサイクル品の活用	通年
地域社会貢献	地域・社会貢献活動	佐藤(勝)	地域清掃活動への参加	2月
		佐藤(勝)	全社員が家庭で節電・節水ゴミの分別を実施する	通年

環境活動計画の実績と評価

環境目標	活動・取組項目	担当者	活動の具体的内容	実施時期	実施結果の評価	
	何を	誰が	どのように	いつまでに	評価	コメント
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	渡邊	不要照明の消灯	通年	◎	ナゲットプラント稼働により、電気使用量が上がっているなかで、四半期に分け取組状況を確認し、年間を通じて節電ができた。
		佐藤(守)	照明機具の改善(不要な蛍光灯を外す)	通年	○	
		佐藤(守)	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年	○	
		佐藤(守)	冷暖房の温度管理	通年	◎	
		渡邊	冷暖房機器清掃	12月	◎	
		渡邊	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	通年	○	
廃棄物排出量の削減	エコ運転の実施	古山	エコドライブ教育研修	2月	◎	毎朝の朝礼時に確認しエコ運転の意識向上と実践ができた。
		古山	アイドリング時間の削減	通年	◎	
		古山	急発進、急加速はしない	通年	◎	
		古山	タイヤの空気圧を定期的に調節する	偶数月	◎	
		古山	燃費管理の実戦	通年	◎	
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底	佐々木	分別の徹底	通年	◎	四半期に分け取組状況を確認し、年間を通じて分別の徹底、置場の整理ができた。
		佐々木	分別方法をわかりやすく掲示	通年	◎	
		佐々木	廃棄物置場の整理	通年	○	
	紙使用の削減	渡邊	コピー数量の削減	通年	○	四半期に分け取組状況を確認し、年間を通じて紙使用の削減ができた。
		渡邊	OA紙の再資源化	通年	◎	
		渡邊	ペーパーレス化の推進	4月	○	
総排水量の削減	水道使用量の削減	梅津	洗車時・手洗い時の節水	通年	◎	四半期に分け取組状況を確認し、年間を通じて節水活動ができた。
		梅津	水の強さを調節(給水栓を絞る)	通年	◎	
		梅津	こまめに水を止める	通年	◎	
		梅津	利用目的に応じた効率的な使用	通年	◎	
グリーン購入	グリーン商品の購入	高野	グリーン購入のリストアップ	4月	◎	四半期に分け取組状況を確認し、年間を通じて優先購入ができた。
		高野	エコマーク商品の優先的購入	通年	◎	
環境配慮の本業の	再資源化率向上	紺野	再資源化できる中間処理業者への収集運搬	通年	◎	四半期に分け取組状況を確認し、年間を通じて取組みができた。
	紺野	収集運搬業者の分別収集の徹底	通年	◎		
地域社会貢献	地域・社会貢献活動	佐藤(勝)	リサイクル品の活用	通年	○	2018年2月に地域社会貢献活動を実施し、社員全員で取組みができた。
		佐藤(勝)	地域社会貢献活動	2月	○	
		佐藤(勝)	全社員が家庭で節電・節水・ゴミの分別をする	通年	◎	

基準評価 ◎:100%以上 ○:90~100%未満 △:70~80%未満 ×:70%未満

環境目標の実績

No	環境目標項目	2017年実績(a)	増減率%	2018年目標(b)	2018年実績(c)	増減率% $100 \times (a-c) / a$	達成率% $b/c \times 100$	評価
1	(1)二酸化炭素(kg-CO ₂ /年)	151,369	1%	149,855	150,817	0.4	99.4	○
	(2)電力使用量(kWh/年)	84,015	1%	83,175	83,850	0.2	99.2	○
	(3)灯油使用量(L/年)	1,065	1%	1,054	1,060	0.5	99.4	○
	(4)LGP使用量(kg/年)	—	—	—	—	—	—	—
	(5)ガソリン使用量(L/年)	7,885	1%	7,806	7,765	1.5	100.5	◎
	(6)軽油使用量(L/年)	30,772	1%	30,464	30,710	0.2	99.2	○
2	廃棄物排出量(kg/年)	145	1%	144	145	0.0	99.3	○
3	水使用量(m ³ /年)	3,406	1%	3,372	2,830	16.9	119.2	◎
4	グリーン購入の推進(%)	94	1%	95	96.95	-3.1	102.1	◎
5	再資源化率(%)	89	1%	90	90	-1.1	101.1	◎

評価基準	達成率 100%以上	◎
	達成率 90%~100%未満	○
	達成率 70%~90%未満	△
	達成率 70%未満	×

環境目標の評価

対象年月日 2018年1月1日～12月31日

重点推進課題	増減率 (%)		評価				目標の 達成度	評価コメント
			3月	6月	9月	12月		
1.二酸化炭素の排出削減	1	%	—	—	—	—	99.4 %	仕事量増加に伴い達成度が低い。削減率の見直しを検討する。
(1) 電力使用量	1	%	○	○	○	○	99.2 %	電力量が上がっているため、外灯を水銀灯からLED照明に変更を検討する。
(2) 灯油	1	%	○	○	—	○	99.4 %	設定温度の見直しを検討すること。
(3) ガソリン	1	%	○	○	○	○	100.5 %	取り組み効果もあり、目標達成できている。今後も継続すること。
(4) 軽油	1	%	○	○	○	○	99.2 %	遠方からの仕事が多かった。冬季のアイドリング時間が多かった。
2. 水使用の削減	1	%	○	○	○	○	119.2 %	達成度が高くなっているが、継続して節水に努めること。
3. 廃棄物排出量の削減	1	%	○	○	○	◎	99.3 %	削減率を検討する。目標にとらわれず継続すること。
4. グリーン購入の推進	1	%	○	○	○	◎	102.1 %	年々順調に購入できています。今後も継続して購入推進を図ります。
5. 本業の 環境配慮	再資源化 向上率	1	○	○	○	◎	101.1 %	排出業者への分別排出の説明を継続し再資源化率につなげる。点検・補修・車検等の整備を積極的に実施する。

目標達成100%以上：◎ 目標達成90%～100%：○ 目標達成70%～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

環境関連の法規制

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	法令等の適用を受ける施設・行為の詳細	適合
廃棄物処理法	第7条1項 一般廃棄物収集運搬許可申請・変更届出	許可申請・変更届出・記録	適合
	第12条の3 産業廃棄物管理票の交付	産業廃棄物管理票の送付・回付・保管	適合
	第14条・第14条の2 産業廃棄物処理業の許可・変更許可	許可申請・変更許可申請(収集運搬・中間処理)・変更届出等の遵守	適合
	第14条の4・第14条の5 特別管理産業廃棄物処理業の許可・変更許可	特別管理産業廃棄物は取扱わない	適合
	第15条・第15条2の2・2の5 産業廃棄物処理施設の設置許可・維持管理基準・変更許可	破碎施設(廃プラスチック: 5.6t/日 2基)の設置許可申請等及び維持管理基準の遵守	適合
	第21条 技術管理者の選任	技術管理者の配置	適合
	施行令第6条 収集運搬車の表示等	運搬車の車体両外側に産業廃棄物運搬車である表示と車内に書面を備え付けておくこと	適合
大気汚染防止法 第6条・第8条・第16条・第17条	ばい煙発生施設の設置届出・構造等の変更届出・ばい煙濃度測定・記録・事故時の措置	大気汚染防止法に係る特定施設の設置はない	適合
水質汚濁防止法 第14条の2	貯油施設に関する事故時の措置・届出	軽油保管施設の流出防止対策・通報体制の確立	適合
福島県産業廃棄物の処理の適正化に関する条例 第32条・第34条	産業廃棄物指定処理施設の設置許可・維持管理基準	破碎施設(廃プラスチック: 1.68t/日 1基)の設置許可申請等及び維持管理基準の遵守	適合
福島市火災予防条例	少量危険物の保管(ガソリン・灯油)	火災防止対策・流出防止対策の遵守	適合
騒音規制法 第22条の2	敷地境界線での規制値	指定地域になっていないが基準値以下。データの保管	適合
フロン排出抑制法	フロン類の大気中への排出を制御 フロン類の使用合理化及び使用される特定製品の管理の適正化	業務用冷凍空調機器 エアコンディショナー、冷蔵機器及び冷凍機器 フロン類が冷媒、その他の用途に使用される機器	適合

環境関連法規制違反・訴訟等の有無

環境関連法の違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去4年間ありません。更に、自社で遵守状況をチェックした結果、問題はありませんでした。また、地域住民等からの苦情等による指摘もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

No	項目	評価・指示事項
1	環境項目の達成状況	仕事量増により達成率が低い。削減率の見直しを検討する。
2	環境活動計画の実施状況	概ね計画通り実施できた。
3	是正及び予防処置	現在のところ是正等の必要はないが、他の取り組みを参考にして更なるレベルアップを図る。
4	環境法規制の順守状況	関連法規の遵厳状況は、良好である。今後も継続していくこと。
5	環境コミュニケーションの状況	苦情や意見要望がいっさいなかったが、継続して取り組みを行うこと。
6	緊急事態への対応	収集運搬車両は定期訓練だけではなく常に点検を行うこと。
7	本業における環境配慮	排出業者への分別排出資料の説明を継続し再資源化率の向上に繋げる。

代表者の指示事項

No	項目	変更の有無		指示内容
		あり	なし	
1	環境方針		○	変更は必要なし。
2	環境目標		○	削減率の見直しを検討すること。
3	環境活動計画		○	継続して取組むこと。
4	環境経営システム（PDCAサイクル）が有効に機能しているか		○	全員が役割分担を理解し、PDCAサイクルが出来てはいるが、再度見直しをすること。
5	代表者による全体の評価と見直し		○	各自が目標を意識し、積極的に活動を実践し、上乗せ達成を図ること。
6	その他指示事項		○	全員の意識が薄れることのないように、その都度、声掛けをするなど意識付けすること。
7	次年度の取組内容		○	上乗せ達成を意識し積極的に活動を実践する。